

龍楼佳氣繞鐘山 鳳瓦參差苑樹閑

一片日華凌曉霽 金光浮動翠微間

【読み】

龍楼の佳氣 鐘山を繞(めぐり) 鳳瓦 參差として苑樹 閑なり

一片の日華 曉霽(ぎょうせい)を凌ぎ 金光 浮動す翠微の間

【意味】

龍のような荘麗な宮殿に美しい気が満ち、鐘山をとりまいている。鳳凰のように美しい屋根瓦が高く低く並び、苑内の樹木
の間に静けさが漂う。 一筋の日の光が、夜明けの雨上がりの空に差し込み、金色の光が緑の木々の間で揺らめいている。

*龍楼…宮殿の楼門のこと。 転じて宮殿。

*鐘山…金陵(今の南京)の東北にある名山

*鳳瓦…鳳凰のような屋根瓦 *日華…太陽のこと

*曉霽…明けがたに晴れあがった空

*翠微…薄緑色にみえる山のようにす

*大内…宮殿

【出典】 山曉望大内作(湯珍とうちん・明)

山曉に大内を望みての作

山の夜明けに宮殿を眺めその情景を読んだ作品